



2026年3月期  
決算説明会資料



株式会社ウッドワン  
2026年6月1日

## ● 東証スタンダード市場（証券コード7898）

（2026年3月31日時点）

商号	株式会社ウッドワン
所在地	広島県廿日市市木材港南1-1
設立	1952年4月
資本金	7,324百万円
事業内容	住宅建材設備事業・発電事業
従業員数	単体 1,175名（連結 2,173名）
国内営業拠点	東京・名古屋・大阪・福岡など全国45拠点
国内製造拠点	本社（廿日市）・豊橋・蒲郡



## 国内



## 海外



## グループ会社

株式会社ベルキッチン (岐阜県瑞浪市)

株式会社フォレストワン (広島県廿日市市)

※主要製造拠点は広島県庄原市

株式会社ウッドジョイ (広島県廿日市市)

ニュージーランド子会社 / Juken New Zealand Ltd.

フィリピン子会社 / Juken Sangyo(Phi ls.)Corp.

香港子会社 / 沃達王國際有限公司

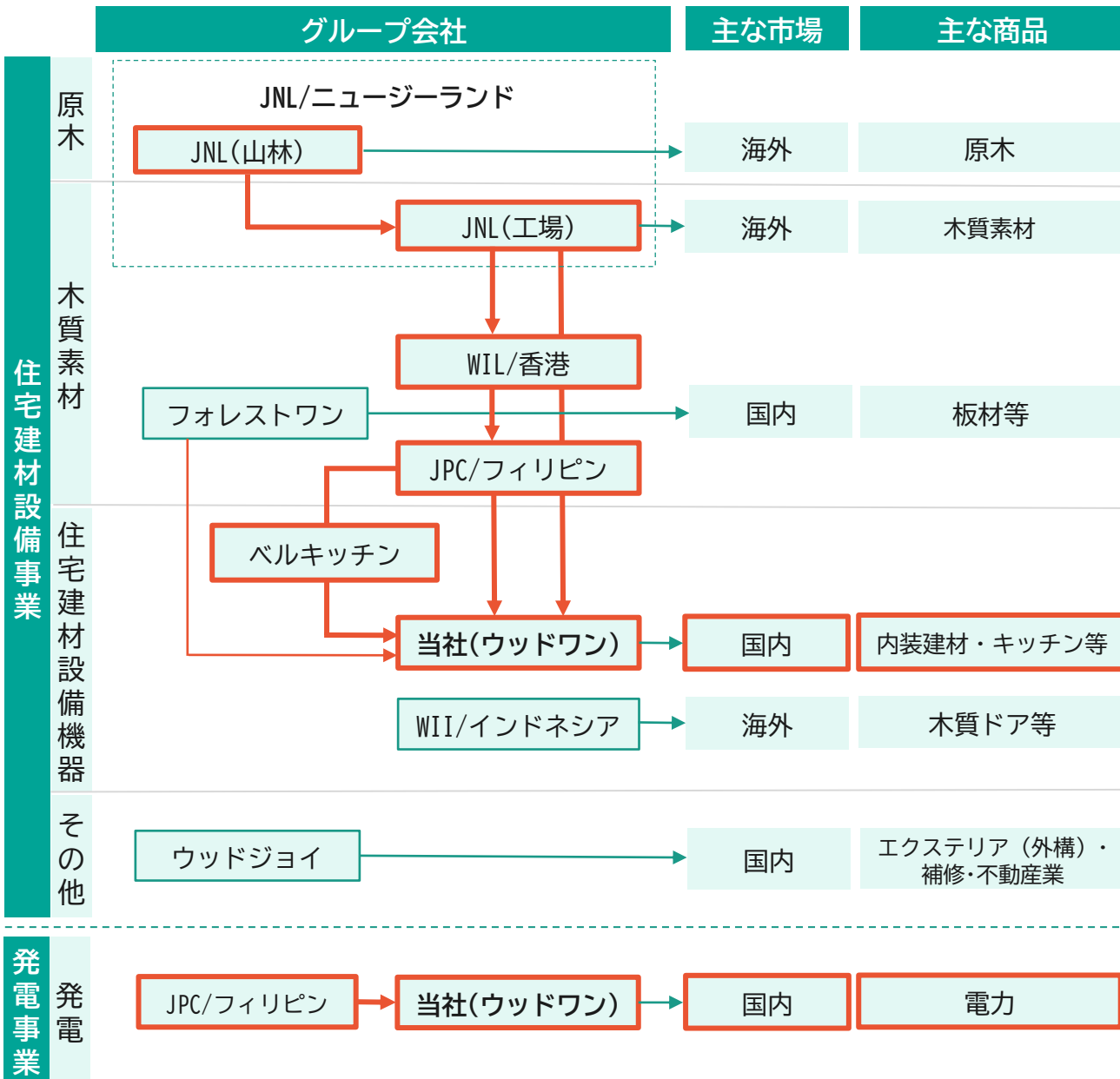
インドネシア子会社 / PT. Woodone Integra Indonesia

# 事業系統図

→ グループ間取引  
→ グループ外取引



当社の主要な商流【一貫生産販売体制】



- ### 事業内容
- **当社/ウッドワン**  
住宅建材及び住宅設備機器の製造並びに販売、バイオマス発電及び売電
  - **子会社**  
    - JNL/ニュージーランド  
木製品等の基材及び構造材の製造・販売、植林を含む山林経営
    - JPC/フィリピン  
木製品の製造
    - WII/インドネシア  
木質内装建材の製造及び販売
    - WIL/香港  
海外子会社の統括、海外での資材調達
    - フォレストワン  
国内産原木の製材
    - ベルキッチン  
住宅設備機器の製造、販売
    - ウッドジョイ  
エクステリア(外構等)の販売及び施工、内装建材の補修並びに不動産業

## 経営環境

- 2025年4月に施行された改正建築基準法の影響や昨今の住宅価格の高騰を受け、当社グループの主力販売市場である日本国内の持家と分譲戸建住宅を合わせた着工戸数が、前年を大きく下回る水準で推移。
- 売上原価に対する影響度が高いNZDは、前年同期末85.26円/NZDから当期末91.52円/NZDとなり、前年同期比で円安NZD高（+6円26銭）で推移。

## 住宅建材 設備事業

- 国内は、価格改定効果やリフォーム・非住宅分野の売上増加があったものの、持家と分譲戸建住宅を合わせた着工戸数減少により、前年同期比で減収。
- 海外は、ニュージーランド子会社が為替の影響等もあり前年比増加、インドネシア子会社では米国向け販売が好調に推移。

## 発電事業

- 発電事業は、バイオマス燃料の需要が増え続ける中、依然、燃料代は高止まりしているものの、製造経費が大きく減少し、前年同期比で増益。

(百万円)

	2025/3期 4Q	2026/3期 4Q	前期比
売上高	65,157	66,000	+842
売上総利益	17,676	17,598	△78
粗利率	27.1%	26.7%	△0.4pt
販管費	16,366	16,367	+1
販管費比率	25.1%	24.8%	△0.3pt
営業利益	1,310	1,230	△80
経常利益	537	1,792	+1,255
当期純利益	1,777	△1,456	△3,234
期末為替レート			
NZD/JPY	85.26	91.52	+6.26

## ポイント

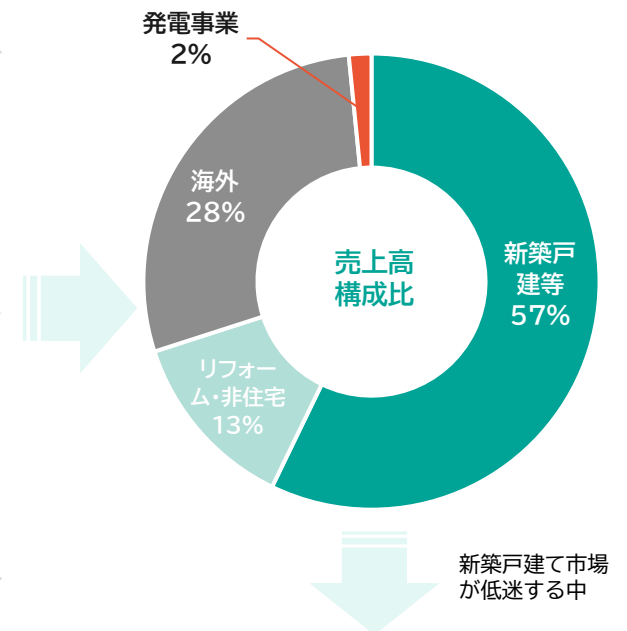
- 国内の住宅需要が低調に推移し、国内の売上が減少した一方、インドネシア子会社の米国向け販売が好調に推移したことなどから、海外の売上が増加し、全体としては増加。
- 国内の価格改定効果およびインドネシア子会社の同国国内、欧米市場向けの売上が増加したことにより粗利率が改善したものの、為替の影響等もあり、ニュージーランド子会社の粗利率が低下し、営業利益は減少。
- ニュージーランド子会社において排出権収入や円建て借入に係る為替差益の計上等により経常利益が増加した一方で、同社で前期はギスボン工場の売却益等の一過性収益が寄与していたことに加え、当期は事業再編損を計上したことから、当期純利益は減少。

### 【参考】前期比増減（△は損要因）

営業外損益	排出権収入	689百万円
	為替差損益	794百万円
特別損益	事業再編損	△2,721百万円
	固定資産売却損益	△2,057百万円

(百万円)

	2025/3期 4Q	2026/3期 4Q	前期比
<b>売上高※</b>	<b>65,197</b>	<b>66,047</b>	<b>+850</b>
・住宅建材設備事業	64,141	64,992	+851
国内 新築戸建等	40,449	37,768	△2,680
リフォーム・非住宅	7,789	8,491	+701
海外 ニュージーランド子会社	11,000	12,004	+1,004
インドネシア子会社	4,864	6,663	+1,799
その他	38	64	+26
・発電事業	1,055	1,054	△0
<b>営業利益</b>	<b>1,310</b>	<b>1,230</b>	<b>△80</b>
住宅建材設備事業 合計	1,251	1,024	△227
発電事業 合計	59	206	+147



**基本戦略**

- ・ 新築戸建等（高付加価値商品の拡販）
- ・ リフォーム、非住宅の開拓
- ・ 海外市場の開拓

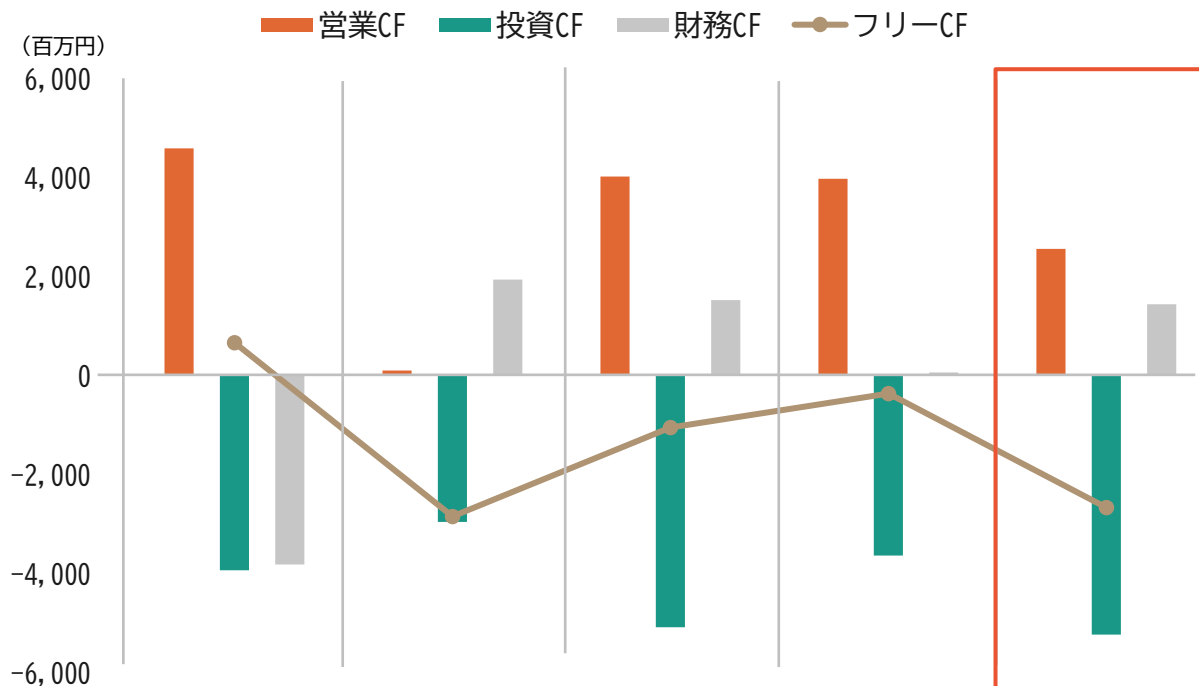
※売上高にはセグメント間の内部取引を含む。

# 連結貸借対照表の状況

(百万円)

	2025/3期 4Q	2026/3期 4Q	増減	為替影響除き	増減要因
<b>流動資産</b>	<b>29,453</b>	<b>30,319</b>	<b>+865</b>	<b>+241</b>	
現預金	5,440	4,127	△1,312	△1,375	・主に立木や棚卸資産などの運転資金の変動
棚卸資産	14,805	15,109	+303	+186	
受取勘定他	9,208	11,082	+1,874	+1,431	・売上債権：+926
<b>固定資産</b>	<b>72,653</b>	<b>73,931</b>	<b>+1,278</b>	<b>△1,279</b>	
立木	22,019	24,676	+2,656	+969	
その他固定資産	50,633	49,254	△1,378	△2,248	・前期JNLギスボン工場売却債権△1,191 ・有形固定資産：△547 ・繰延税金資産：△451
<b>資産合計</b>	<b>102,106</b>	<b>104,251</b>	<b>+2,144</b>	<b>△1,037</b>	
<b>流動負債</b>	<b>31,111</b>	<b>31,761</b>	<b>+650</b>	<b>△600</b>	
有利子負債	19,545	20,609	+1,064	+277	
支払勘定他	11,566	11,151	△414	△878	
<b>固定負債</b>	<b>25,380</b>	<b>27,195</b>	<b>+1,814</b>	<b>+1,143</b>	
有利子負債	20,384	22,234	+1,850	+1,416	
その他	4,996	4,960	△35	△273	
<b>有利子負債合計</b>	<b>39,929</b>	<b>42,844</b>	<b>+2,915</b>	<b>+1,694</b>	・設備投資や山林投資資金の調達
<b>負債合計</b>	<b>56,492</b>	<b>58,956</b>	<b>+2,464</b>	<b>+542</b>	
<b>純資産合計</b>	<b>45,614</b>	<b>45,294</b>	<b>△320</b>	<b>△1,580</b>	・主に当期純損失△1,456、配当△223
<b>負債純資産合計</b>	<b>102,106</b>	<b>104,251</b>	<b>+2,144</b>	<b>△1,037</b>	

# キャッシュ・フローの状況



## 主な当期増減要因

- **営業CF：**
  - 税引前利益：△341
  - 減価償却費：+3,616
  - 事業再編損：+2,956
  - 売上債権増加：△936
  - 棚卸資産増加：△860
  - 法人税等の支払：△906
- **投資CF：**
  - 有形固定資産の取得：△5,569
  - 主に山林投資および被災設備(※)の入替等
- **財務CF：**
  - 長短借入・返済：+1,959
  - 配当金の支払：△222

(注) フリーCFは「営業CF」と「投資CF」の合計です。

※ 2024年11月11日付「ニュージーランド子会社における火災発生のお知らせ」で公表した被災設備の入替に伴うものです。

# 2027年3月期の業績予想・配当予想

(百万円)

連結業績	2026/3期 実績	2027/3期 予想	前期比
売上高	66,000	65,000	△1,000
営業利益	1,230	1,200	△30
経常利益	1,792	600	△1,192
当期純利益	△1,456	400	+1,856



## 業績予想の前提および対応方針

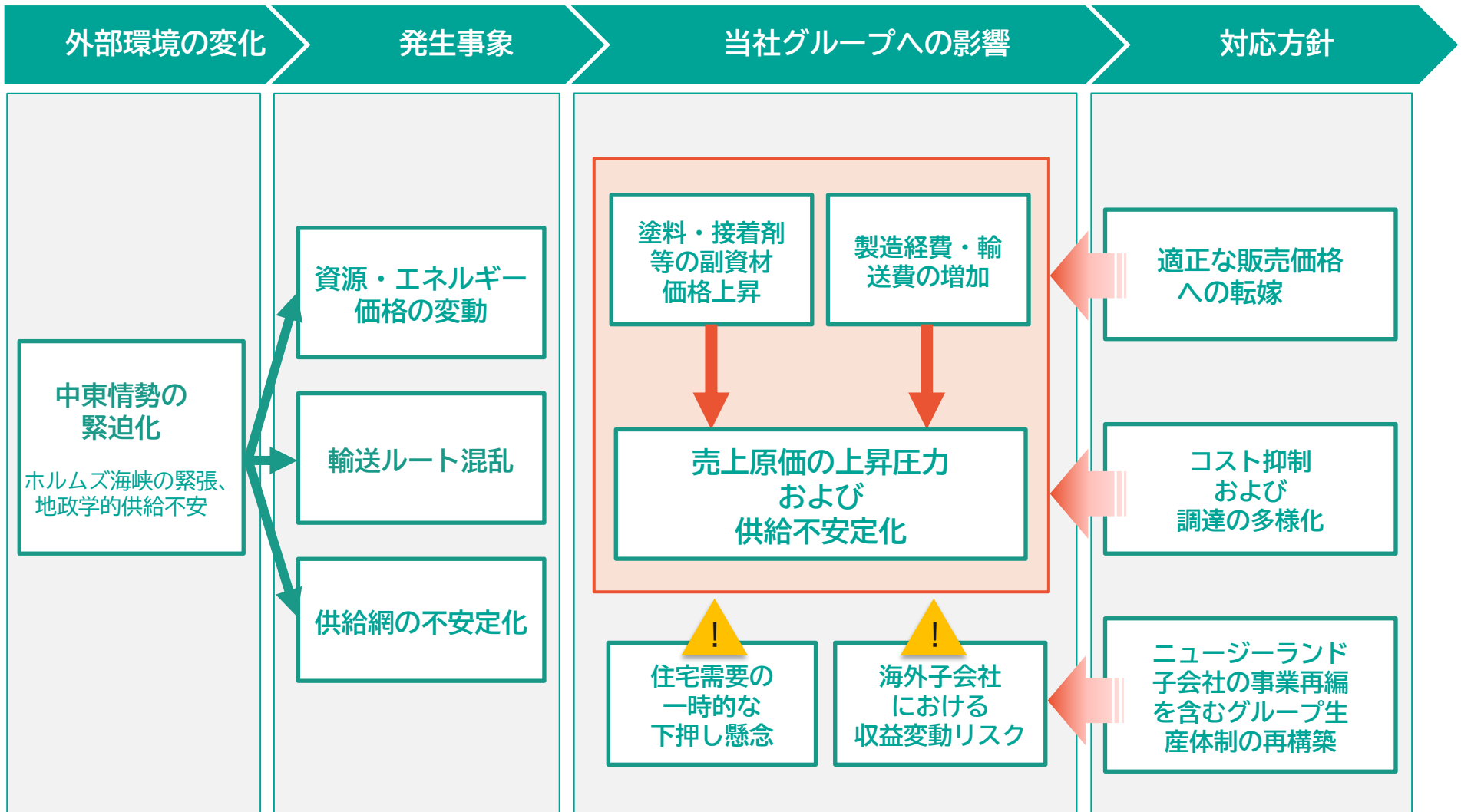
- ニュージーランド子会社については、不採算事業の抜本的見直しおよび黒字化基盤の構築を目的とした構造改革に向けて労使協議中であり、現時点では事業再編内容は未確定であるものの、前期に実施した減損処理に伴う減価償却費の減少に加え、被災設備の代替設備導入による生産性向上など一定の改善効果を織り込む。
- 中東情勢の緊迫化に伴うコスト上昇については、適正な販売価格への転嫁により対応する方針。
- 国内の新設住宅着工（持ち家+分譲戸建て）については、中東情勢の影響を織り込まない市場予測をベースとした試算では前年比103.5%程度となる中、中東情勢による市況悪化リスクを考慮し、上期は一時的に低調な局面を想定。年後半にかけて徐々に持ち直す前提のもと、通期では前年比97%程度を想定。

配当予想 : 2026年3月期と同額の24円を予想

(円)

配当	2026/3期	2027/3期 予想
中間	12.00	12.00
期末	12.00	12.00
合計	24.00	24.00
配当性向	—	55.9%

中東情勢の緊迫化に伴う外部環境の変化を踏まえ、当社グループへの主な影響と対応方針をお知らせします。





2026年3月期  
決算補足資料



## 木を育み、木の恵みを受け取る、木と人のgood communication ウッドワン価値創造の軌跡

強みのステップ

ステップの強み

### 強み 1 苗木づくりから家づくりまで住宅事業の展開

広島のに林業を起こし、建材の加工・製造、建築部材の設計・生産を行う総合木質建材メーカーとして70年余の歴史を刻んできました。

### 強み 2 木を知り木を科学する

自ら育てた木を高度な加工技術でさらに建材として適材適所に活かすウッドワンでは、木を究めたプロフェッショナル人材を育成。素材の持ち味を引き出しながら強度・耐震性など機能面でも優れた建材に再生させてきました。

### 強み 3 40,000haの森林を経営

国内だけでなく海外の森林を調査し、1990年代からニュージーランドに良質なニュージーパイン®の森林を取得。再生可能な資源である森林を育む植林、間伐、伐採を30年周期で繰り返しながら事業を展開し、国産材とともにクリーン調達、安定供給しています。

### 強み 4 省施工・省資源の推進

少子高齢化等の社会構造の変化にとまない、大工や職人の減少が社会課題となっています。ウッドワンは省施工商品の開発や、施工現場の独自の廃材削減を通じて課題解決に取り組んでいます。

### 強み 5 高付加価値商品で世界を豊かに

1本の木を無駄なく利用し、化学物質などシックハウス症候群の原因を取り除いて自然な木材のぬくもりをお届けする「ウッドワン」は人に優しい高付加価値商品で世界を豊かにしています。

...1960 / 1970 / 1980 / 1990 / 2000 / 2010 / 2020

- 1935年 広島県に木材業創業
- 1952年 衛中本林業設立、1960年に株式会社に組織変更
- 1967年 わが国初の超大型合板プラントによる長尺合板縁甲板「フロンク」生産開始
- 1969年 ㈱住建産業へ社名変更

- 1970年 蒲郡工場新設
- 1970年 豊橋工場新設
- 1974年 長尺合板壁材「羽目フロンク」発売



「フロンク」の廊下

- 1980年 LVL工場、集成材工場完成
- 1984年 新造作材工場完成



LVL 階段（銘木樺）

- 1990年 ニュージーランドに現地法人設立
- 1992年 ニュージーパイン®の無垢材を使った無垢ドア「ジュビーンシリーズ」発売
- 1999年 フィリピンに現地法人設立



スイージー

- 2002年 ㈱ウッドワンに社名変更
- 2006年 株式会社ベルテクノ（現ベルキッチン）を子会社化
- 2008年 ウッドワンブランドで初のシステムキッチン「スイージー」発売
- 2009年 ニュージーランドの全森林・全工場で森林認証を取得

- 2010年 国内外の木質建材関連工場で森林認証を取得
- 内装材全種で「4 VOC基準適合」（木質建材）に登録
- 2015年 バイオマス発電設備新設。発電事業参入
- 2016年 株式会社フォレストワン設立
- 2018年 インドネシアの現地法人を子会社化

- 2022年 広島県庄原市と立地協定を締結
- 2024年 建材新シリーズ「WO Timeless standard collection」発表



「WO Timeless standard collection」

## 木と、人の、GOODな関係。 ウッドワンのバリューチェーン

私たちウッドワンは創立70余年、木とともに歩んできた総合木質建材メーカーです。半世紀以上にわたり培ってきた、森林に対する豊富な知識と、高度な加工技術を基盤に、森の育成から加工・販売までの全フィールドを活動の場としています。森と人の共生=「木（wood）と、人（one）のよりよい関係」を掲げ、グローバルな視点から、人と自然、社会、そして未来に貢献します。



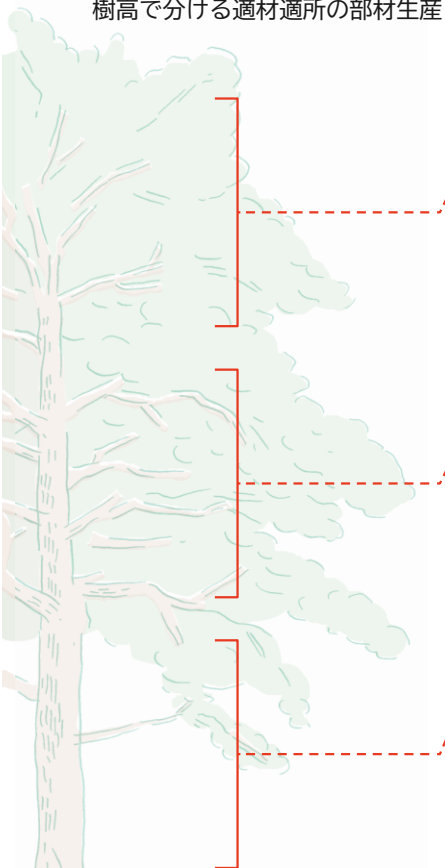
### バリューチェーン

住宅建材設備事業	森林経営		法正林施業 (植林/育林/間伐/伐採) 原木加工 搬出
	流通		合法性確認 調達 出荷/販売 納品
	開発・製造		基礎研究 商品開発 製造 納品
	サービス		ショールーム メンテナンス コールセンター 構造設計
発電事業	再生可能 エネルギー		調達 バイオマス発電 販売

## 1本の木を余すことなく使いきる

ウッドワンでは、脱炭素の担い手である森林を育て、そこから資源としての木材を有効に活用するために、自ら植えて育てたニュージーパイン®のあらゆる部位を、建築用材に加工しています。目をかけ、手をかけ、大切に育ててきた木だからこそ、適材適所で活用し、余すことなく使いきる。それがウッドワンの商品開発のスタイルです。

### 樹高で分ける適材適所の部材生産



#### ■ 高強度のボードとして

ビスの保持力が高いストランド（木の薄片）層を表面平滑性に優れたファイバー層で挟み込んだ三層構造ボードは、たわみが少ない高強度素材で、クローゼットの扉や押し入れ中段の基材などの内装材として最適です。



■ トライウッド。  
ストランド（木の薄片）層をファイバー層で挟み込んだ三層構造ボード

#### ■ 合板・単板積層材として

単板積層材は、強度にバラつきが少なく、反りや狂いも少ないので、床の下地材などに活用できる建材です。住宅の構造材としても用いられます。



■ LVL  
（Laminated Veneer Lumber）  
単板の繊維方向を平行に揃え接着した単板積層材

#### ■ 無垢材、集成材として

無垢材は床材やドアなどの建材として用いられます。集成材は無垢材や挽き板、小角材などを集成接着したもので、キッチンの扉などさまざまな建材として活用されます。



■ 無垢材  
自然の木の魅力を最大限に活かした住宅用高級建材



■ 集成材  
挽き板や小角材などを集成接着した、応用力豊かな建材

## 主要なブランド・商品

私たちの強みは、自ら木を育て、加工・販売までを行う一貫生産スタイルです。商品の完成形を見据え、最適な木を育てられるということです。自ら育てた木だからこそ、その長所も短所も熟知しています。「木」を知り尽くしたプロとして、素材が持つ木の面白さ、日本人の暮らしに深く根ざす木のぬくもりを、未来へ伝えていきます。

### ピノアース

#### ■ 苗木から育てた木のぬくもりを

ニュージーランドで計画的に植林されたニュージーパイン®を使用した無垢シリーズです。木の素材感を最大限活かす「浮造り仕上げ」が特徴的で、無垢材の持つ温かさ、優しさを最大限に活かしたシリーズです。



ピノアースシリーズ  
（ドア、床材、階段材）

### su:iji [ スイージー ]

#### ■ 木を育てている会社で作る木のキッチン

スイージーに使われている素材たちは使い続ける中で過ごした時間が刻まれ、じっくり味わいを深めていきます。何十年たっても使い続けられる上質な素材を厳選し、ひとつずつ丁寧に人の手で作られたキッチンです。



su:iji [ スイージー ] NZ20  
ウォームベージュ色

### 木十彩 [ KITOIRO ]

#### ■ 素のままよりも、楽しい

質のよい本物の木に彩をプラス。鮮やかな色彩や豊富なデザインで、木を取り入れた空間のアイデアがさらに広がります。



木十彩 [ KITOIRO ]  
（床材、壁材、長押）

### 無垢の木の収納

#### ■ 自由に組み合わせ、たのしく仕舞う

部屋全体を包み込む無垢の木の優しさ。お部屋のインテリアや収納物に合わせて自由に組み合わせ、自分好みのオリジナル収納を作ることが可能です。



無垢の木の収納

### WO Timeless standard collection

#### ■ 上質で時代に左右されず、暮らしうちに味わい深く変化していく

ニュージーパイン®の魅力を最大限に活かした幅30cmの床材に始まり、ドア、クローゼット扉、階段、手すりなど、木製の統合された建材を提案します。



WO Timeless standard collection

# 四半期連結業績

(百万円)

	2025/3期					2026/3期				
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間
売上高	15,890	15,936	17,095	16,234	65,157	15,774	15,759	17,955	16,511	66,000
売上総利益	3,976	4,370	4,781	4,548	17,676	4,148	4,202	5,155	4,092	17,598
粗利率	25.0%	27.4%	28.0%	28.0%	27.1%	26.3%	26.7%	28.7%	24.8%	26.7%
販管費	4,114	3,946	4,362	3,941	16,366	4,108	3,954	4,386	3,918	16,367
販管費比率	25.9%	24.8%	25.5%	24.3%	25.1%	26.0%	25.1%	24.4%	23.7%	24.8%
営業利益	△138	423	418	607	1,310	39	247	768	174	1,230
営業利益率	△0.9%	2.7%	2.4%	3.7%	2.0%	0.3%	1.6%	4.3%	1.1%	1.9%
経常利益	412	△111	80	155	537	428	241	1,000	122	1,792
経常利益率	2.6%	△0.7%	0.5%	1.0%	0.8%	2.7%	1.5%	5.6%	0.7%	2.7%
当期利益	86	74	724	891	1,777	352	413	702	△2,925	△1,456
当期利益率	0.5%	0.5%	4.2%	5.5%	2.7%	2.2%	2.6%	3.9%	△17.7%	△2.2%

# セグメント別売上

## ● セグメント別四半期売上推移

(百万円)

	2025/3期					2026/3期				
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間
国内/新築戸建等	9,604	9,727	10,913	10,203	40,449	9,473	9,113	9,823	9,358	37,768
国内/リフォーム・非住宅	1,660	1,984	2,263	1,881	7,789	1,937	2,060	2,391	2,101	8,491
海外/JNL(ニュージーランド)	3,328	2,970	2,654	2,046	11,000	2,553	2,992	3,433	3,024	12,004
海外/WII(インドネシア)	1,043	981	982	1,856	4,864	1,556	1,334	2,033	1,739	6,663
海外/その他	8	11	9	9	38	6	6	12	38	64
<b>住宅建材設備事業 計</b>	<b>15,645</b>	<b>15,675</b>	<b>16,822</b>	<b>15,997</b>	<b>64,141</b>	<b>15,528</b>	<b>15,507</b>	<b>17,694</b>	<b>16,263</b>	<b>64,992</b>
<b>発電事業 計</b>	<b>254</b>	<b>271</b>	<b>283</b>	<b>245</b>	<b>1,055</b>	<b>256</b>	<b>265</b>	<b>273</b>	<b>260</b>	<b>1,054</b>
<b>セグメント合計</b>	<b>15,900</b>	<b>15,947</b>	<b>17,106</b>	<b>16,243</b>	<b>65,197</b>	<b>15,784</b>	<b>15,772</b>	<b>17,967</b>	<b>16,524</b>	<b>66,047</b>
調整	△10	△10	△10	△8	△39	△10	△12	△11	△12	△47
<b>合計</b>	<b>15,890</b>	<b>15,936</b>	<b>17,095</b>	<b>16,234</b>	<b>65,157</b>	<b>15,774</b>	<b>15,759</b>	<b>17,955</b>	<b>16,511</b>	<b>66,000</b>

## ● 国別四半期売上推移

(百万円)

	2025/3期					2026/3期				
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間
日本	11,604	12,102	13,492	12,331	49,532	11,719	11,455	12,569	11,815	47,560
ニュージーランド※	3,109	2,731	2,443	1,960	10,245	2,377	2,898	3,268	2,897	11,441
英国	587	521	433	678	2,220	624	494	593	504	2,217
米国	284	219	319	803	1,627	698	615	1,098	841	3,253
その他	303	362	405	461	1,532	353	295	425	451	1,526
<b>合計</b>	<b>15,890</b>	<b>15,936</b>	<b>17,095</b>	<b>16,234</b>	<b>65,157</b>	<b>15,774</b>	<b>15,759</b>	<b>17,955</b>	<b>16,511</b>	<b>66,000</b>

※ニュージーランド国内市場向けの売上に加え、同国内の顧客を通じて中国など海外へ販売されるものも含まれる。

セグメント		業績概要等	売上高推移（百万円）	主要な施策																								
住宅建材設備事業	国内	<p>新築戸建等／リフォーム・非住宅</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新築戸建て売上は、住宅市況が低調の中、減少。</li> <li>● リフォーム・非住宅売上は、前年比9%増加。</li> </ul>	<p>■新築戸建て ■リフォーム・非住宅</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>新築戸建て</th> <th>リフォーム・非住宅</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2022/3 4Q</td> <td>44,263</td> <td>6,414</td> <td>50,678</td> </tr> <tr> <td>2023/3 4Q</td> <td>43,295</td> <td>6,195</td> <td>49,490</td> </tr> <tr> <td>2024/3 4Q</td> <td>40,743</td> <td>7,080</td> <td>47,824</td> </tr> <tr> <td>2025/3 4Q</td> <td>40,449</td> <td>7,789</td> <td>48,238</td> </tr> <tr> <td>2026/3 4Q</td> <td>37,768</td> <td>8,491</td> <td>46,259</td> </tr> </tbody> </table>	期間	新築戸建て	リフォーム・非住宅	合計	2022/3 4Q	44,263	6,414	50,678	2023/3 4Q	43,295	6,195	49,490	2024/3 4Q	40,743	7,080	47,824	2025/3 4Q	40,449	7,789	48,238	2026/3 4Q	37,768	8,491	46,259	<ul style="list-style-type: none"> <li>★無垢商品や省施工商品といった付加価値が高い商品を核とした内装建材等の拡販</li> <li>★リフォーム・非住宅市場や海外市場といった新たな市場のさらなる開拓</li> </ul>
	期間	新築戸建て	リフォーム・非住宅	合計																								
2022/3 4Q	44,263	6,414	50,678																									
2023/3 4Q	43,295	6,195	49,490																									
2024/3 4Q	40,743	7,080	47,824																									
2025/3 4Q	40,449	7,789	48,238																									
2026/3 4Q	37,768	8,491	46,259																									
海外	<p>ニュージーランド子会社</p> <p>(原木販売)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 前期は販売単価が低調であったことや為替の影響もあり、前年比で9.1億円の増加。</li> </ul> <p>(木質素材販売)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 為替の影響もあり、前年比で0.9億円増加。</li> </ul>	<p>■原木 ■木質素材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>原木</th> <th>木質素材</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2022/3 4Q</td> <td>5,347</td> <td>6,713</td> <td>12,061</td> </tr> <tr> <td>2023/3 4Q</td> <td>5,986</td> <td>5,906</td> <td>11,892</td> </tr> <tr> <td>2024/3 4Q</td> <td>8,754</td> <td>4,818</td> <td>13,572</td> </tr> <tr> <td>2025/3 4Q</td> <td>6,354</td> <td>4,645</td> <td>11,000</td> </tr> <tr> <td>2026/3 4Q</td> <td>7,267</td> <td>4,737</td> <td>12,004</td> </tr> </tbody> </table>	期間	原木	木質素材	合計	2022/3 4Q	5,347	6,713	12,061	2023/3 4Q	5,986	5,906	11,892	2024/3 4Q	8,754	4,818	13,572	2025/3 4Q	6,354	4,645	11,000	2026/3 4Q	7,267	4,737	12,004	<ul style="list-style-type: none"> <li>★生産移管・集約化 海外工場（JNL・JPC）・国内工場を含めた一貫生産体制の再編成</li> </ul>	
期間	原木	木質素材	合計																									
2022/3 4Q	5,347	6,713	12,061																									
2023/3 4Q	5,986	5,906	11,892																									
2024/3 4Q	8,754	4,818	13,572																									
2025/3 4Q	6,354	4,645	11,000																									
2026/3 4Q	7,267	4,737	12,004																									

# セグメント詳細②

セグメント		業績概要等	売上高推移（百万円）	主要な施策																														
住宅建材設備事業	海外	<p>インドネシア子会社</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 米国の新規開拓が順調に進捗し、同国向け売上高が前年比104%増加。</li> </ul>	<p>■ 英国 ■ 米国 ■ その他</p> <table border="1"> <caption>Indonesia Revenue (百万円)</caption> <thead> <tr> <th>Quarter</th> <th>UK</th> <th>USA</th> <th>Others</th> <th>Total</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2022/3 4Q</td> <td>1,932</td> <td>50</td> <td>624</td> <td>2,607</td> </tr> <tr> <td>2023/3 4Q</td> <td>2,612</td> <td>15</td> <td>730</td> <td>3,357</td> </tr> <tr> <td>2024/3 4Q</td> <td>1,424</td> <td>122</td> <td>764</td> <td>2,312</td> </tr> <tr> <td>2025/3 4Q</td> <td>2,220</td> <td>1,595</td> <td>1,048</td> <td>4,864</td> </tr> <tr> <td>2026/3 4Q</td> <td>2,217</td> <td>3,253</td> <td>1,192</td> <td>6,663</td> </tr> </tbody> </table>	Quarter	UK	USA	Others	Total	2022/3 4Q	1,932	50	624	2,607	2023/3 4Q	2,612	15	730	3,357	2024/3 4Q	1,424	122	764	2,312	2025/3 4Q	2,220	1,595	1,048	4,864	2026/3 4Q	2,217	3,253	1,192	6,663	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 海外販売の強化 インドネシア国内+英国・米国・豪州などでの販売拡大</li> </ul>
	Quarter	UK	USA	Others	Total																													
2022/3 4Q	1,932	50	624	2,607																														
2023/3 4Q	2,612	15	730	3,357																														
2024/3 4Q	1,424	122	764	2,312																														
2025/3 4Q	2,220	1,595	1,048	4,864																														
2026/3 4Q	2,217	3,253	1,192	6,663																														
国内	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 売電単価の低下や出力制御が継続しているものの、前年と同水準で推移。</li> </ul>	<p>■ 発電事業</p> <table border="1"> <caption>Power Generation Revenue (百万円)</caption> <thead> <tr> <th>Quarter</th> <th>Revenue</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2022/3 4Q</td> <td>1,147</td> </tr> <tr> <td>2023/3 4Q</td> <td>1,095</td> </tr> <tr> <td>2024/3 4Q</td> <td>1,065</td> </tr> <tr> <td>2025/3 4Q</td> <td>1,055</td> </tr> <tr> <td>2026/3 4Q</td> <td>1,054</td> </tr> </tbody> </table>	Quarter	Revenue	2022/3 4Q	1,147	2023/3 4Q	1,095	2024/3 4Q	1,065	2025/3 4Q	1,055	2026/3 4Q	1,054	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 燃料の安定調達および環境負荷に配慮した持続可能な安定稼働</li> </ul>																		
Quarter	Revenue																																	
2022/3 4Q	1,147																																	
2023/3 4Q	1,095																																	
2024/3 4Q	1,065																																	
2025/3 4Q	1,055																																	
2026/3 4Q	1,054																																	

## ● 新設住宅着工戸数推移（千戸）

	2024/1～2024/12					2025/1～2025/12					1-12月 前期比
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	合計	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	合計	
持家	48	54	59	57	218	53	42	53	53	201	92.3%
分譲戸建	30	31	30	31	121	31	24	29	32	116	95.7%
合計	77	85	88	88	339	83	66	83	85	317	93.5%

- 住宅着工件数は、当社の住宅建材設備需要を示す先行指標で、着工から売上まで約3ヵ月程度のタイムラグが生じる。

## ● 為替レート推移

	2024/4～2025/3				2025/4～2026/3				前期比
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	
NZD/JPY	97.82	90.75	89.17	85.26	87.71	86.01	90.85	91.52	+6.26
USD/JPY	161.07	142.73	158.18	149.52	144.81	148.88	156.56	159.88	△1.62

- NZD/JPY：ニュージーランド子会社の売上原価に係る連結上のJPY換算額に影響。
- USD/JPY：インドネシア子会社の営業利益に係る連結上のJPY換算額に影響。決算期は12月で、連結決算日との間に3ヵ月のずれがある。

## ● 政策金利（％）

	2025/3期				2026/3期				前期比
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	
ニュージーランド	5.50	5.25	4.25	3.75	3.25	3.00	2.25	2.25	△1.50

- NZD/JPYの為替変動およびニュージーランド子会社の支払利息に影響。
- ニュージーランド国内の新規住宅着工件数および住宅関連需要に影響。